



林 声

2018
11 月号



未来を生きる子どもたちが心豊かに成長できる地域社会を目指し、さまざまな活動が続けられている『認定NPO法人ハーモニーネット未来』のみなさん。子どもたちの五感を刺激する自然体験イベントを開催しています。（詳細はP2に記載）

目 次

おかやまの森ガール・木ガール	
ハーモニーネット未来	2
がんばる認定事業体（株式会社 岡田林業）...	3
林業普及指導区の情報（東備普及指導区）.....	4
林業普及指導区の情報（真庭普及指導区）.....	5
ニューフェイスです！	
びほく森林組合 溝川博之さん	6
第3期森づくり県民税導入効果	
（林政課普及指導班）.....	7
担い手サポート市町村（美咲町）.....	8
功労者表彰（林政課普及指導班）.....	9

技能講習等情報	10
林産物市況	11
森林・林業施設の紹介	
（石蓮寺みんなの森）.....	14

【ほっけ～木になる情報】

Q. 地域林政アドバイザーとは
 はどういうことをする人
 ですか。



おかやまの森カール。 木カール

認定NPO法人

ハーモニーネット未来

【井笠普及指導区】

ハーモニーネット未来は「子どもたちに夢を！たくましい豊かな創造性を！」を合言葉に1987年に笠岡子ども劇場として設立した団体です。以来、子どもたちが心豊かに成長できる地域社会を目指し、様々な活動を展開しています。港近くに建つ古風な木造建屋の事務所で、副理事長の横谷さんにお話を伺いました。

一 活動の内容

◎活動の内容を教えてください。

親子を対象とした舞台芸術鑑賞事業からスタートし、現在では子育て支援事業のほか、高齢者の外出や生活支援事業、障がい児や親の居場所づくりなど、地域に住むすべての人を対象に活動の幅を広げています。事務所を開放し、親子がくつろいで遊べる空間や、地域のひととの交流の場を提供しています。また、年に数回自然体験活

動のイベントも開催しています。

二 自然体験活動について

◎自然体験活動とは？

昨年行った「もりの体験」イベントでは、小学生とその保護者に間伐体験や樹皮剥ぎ、薪割り、木登り、ヒノキの鉛筆づくりなどの体験を、森の中で一日中行いました。小さな子どもも一生懸命にこぎりを使い木を倒し、樹皮を剥いだときのツルツとした木の感触や香りなどを楽しんでいました。子どもと一緒にお父さんお母さんも夢中になっていましたね。



「もりの体験」イベントの様子

◎参加者の反応は？

自然の中では五感がフルに働きます。子どもは自然からエネルギー

ーをもらい、学習し大きく成長します。また、両親や友達と一緒に、感動し、よろこび、失敗や成功を重ねる体験を繰り返す、まわりの人に愛されながら心豊かに育っていきます。森は子育ての絶好の場所だと思えます。普段、子どもが危険な行動を「だめ」と制止しがちなお母さんたちも山に入れば、子どもたちと一緒に笑い、楽しんでいきます。以前、笠岡の十名山のいくつかに登るイベントを実施しましたが、一人では不安があり登れなかったけれど、今度は自分たちで登ってみたい、とおっしゃった参加者もいました。私たちが実施している活動が、山や自然に親しむきっかけとなり、親子や友達の良い関係づくりの一助になったらいいな、と思っています。

◎今後の活動は？

毎年「ワクワクドキドキ科学であそぼう！」というイベントを実施しているのですが、ペットボトルロケットやスパーボールづくりなどの実験ブースのほかに、今年は「木にふれよう」のコーナーを設けました。ヒノキのかんなくずプールや積み木遊びなどを考え



木の温もりを感じられるおもちゃがいっぱい。

ています。木のおもちゃは温かく、子どもたちの感性豊かな心の発達を促します。親にとっても癒し効果があります。この事務所にもたくさん木のおもちゃを置いていますが、これからも子どもが育つ環境に木を取り入れていきたいと思っています。

三 おわりに

横谷さんをはじめスタッフの皆さんのほじけるような笑顔と、元気な子どもたちの声がこだまします。取材に快くご協力いただきました。これからのハーモニーネット未来の皆様のますますのご活躍を願っています。

(井笠普及指導区 山下雅子)

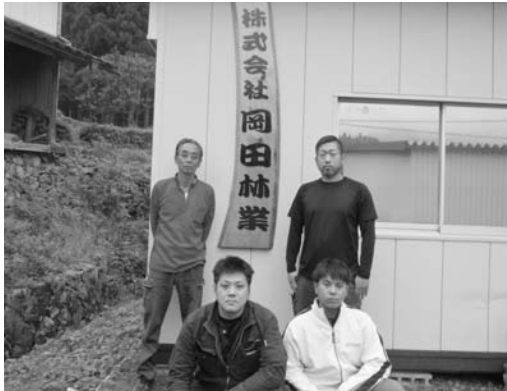


一 はじめに

(株)岡田林業は、英田郡西粟倉村大茅に事務所を置き美作地域を中心に素材生産を行っています。今回は、代表取締役の岡田昌俊氏(59歳)から活動内容についてお話を伺いました。

二 会社の概要

(株)岡田林業は平成16年に創業、平成25年8月に法人化され、主に搬出間伐による素材生産を中



後列左「岡田代表取締役」(事務所前にて)

心に事業を展開されています。

岡田社長は近年の材価低迷から生産性の向上を図るため、機械化を進められているとのこと。

創業された当時から地元の森林所有者に搬出間伐を提案するなど、森林整備に積極的に取り組まれています。

社員構成はご子息や新しい就業者が加わり、現在、8名の社員(内訳は現場作業員5名、運送員2名、選木1名)により業務を行っています。

三 事業活動の概要

現在は、知人などからの請負による搬出間伐を中心に、直近では年間約7,800立方メートルの素材生産を行っています。



山土場からの木材搬出用トラック

作業システムは、チェーンソー

による伐倒、プロセッサによる造材、フォワーダによる山土場までの搬出、グラップルによる積み込み作業、トラックによる自社での市場までの搬送を行っており、グラップル2台、フェラーバンチャ付バケット1台、グラップル付バケット(ザウルス)2台、プロセッサ1台、フォワーダ1台、輸送トラック(3t×15t)5台を所有しています。

また、今年度に導入されたフェラーバンチャ付バケットにより、作業道作設の効率化が図られています。

また、その他には危険木処理など幅広く事業展開されています。

四 特徴的な活動

(株)岡田林業では、昨年从今年度にかけて、2年間で正社員3名、アルバイト2名を雇用し、事業の拡大を図っています。

このうち、新規就業者については、技術の習得や労働災害の防止等のため、フォレストワーカーなどの技能者の育成研修や森林作業道作設のためのオペレーター育成研修など、今後も積極的に参加される予定です。

また、仕事面だけではなく、若

い担い手が安心して働けるように地元集落に住居を確保したり、社員の親睦を図るための研修旅行を毎年行うなど、風通しのよい職場環境を心がけられています。

また、欧州型のチェーンソーの競技会も技術や安全な作業を身に付けるため役立つと考え、参加できる環境づくりなどを行うなど雇用確保や人材育成にも積極的に取り組んでいます。



チェーンソー競技出場の練習場

五 終わりに

取材を通して(株)岡田林業は、全員が気軽に意見を出し合えコミュニケーションが図れるチームワークの良さが感じられました。

今後、担い手の育成・確保を図りながら、事業規模の拡大を目指しており、ご活躍を期待しています。

(勝英普及指導区 福見照芳)



赤磐市暮田地区では、暮田赤松を守る会が中心となって「林地におけるホンシメジの栽培」に取り組み、ここ数年で出荷できるまでに至ったので、その概要について紹介します。

一 暮田赤松を守る会

赤磐市の北東部に位置する暮田地区は、標高250mの高台にある小さな集落です。アカマツを主体とした天然林が大部分を占め、かつては県下有数のマツタケ産地であったことから、アカマツ林は地区の財産として大切に管理されてきました。

ところが昭和50年頃から松くい虫被害が顕著になったことから、昭和54年に「暮田赤松を守る会」(以下、守る会)が結成され、区民をあげて伐倒駆除等に取り組んでこられました。現在、会員30名で活動されています。

二 ホンシメジ栽培の取組

マツタケ発生量が減少する中、

ホンシメジの人工栽培で研究成果を上げていた奈良県森林技術センターへの視察をきっかけに、平成13年度からホンシメジ栽培への挑戦が始まりました。

栽培方法は、アカマツやウバメガシから取り木で発根させた無菌苗とホンシメジの菌を林内に植え込み、周囲から伸長してくるアカマツ等の根と菌根形成させるもので、18年度までに毎年200本が植えられました。

また、19年度からは岡山県林業試験場(現在の森林研究所)が開発した、苗畑で育成したアカマツ苗木にホンシメジ菌を接種した感染苗方式に切り替えて24年度まで植え込みを行っています。

植栽地は樹齢20〜30年生の若い



シロが拡大している栽培地

アカマツ林を選び、広葉樹の抜き伐り、落葉層の除去、灌水等の発生環境整備を行っています。ホンシメジのシロの成長・拡大は旺盛であると言われていますが、現地ではシロが周囲に拡大している状況が見られています。

また、環境整備の結果、シメジと同様の土壌、植生を好むと言われるマツタケの発生が20年度から見られるようになっていきます。

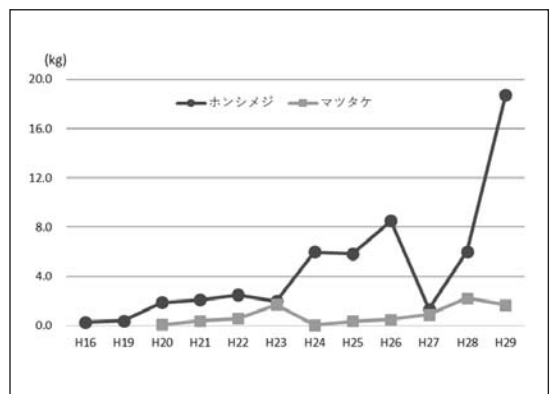


出荷用に箱詰めされたホンシメジ

三 シメジの発生量と出荷状況

平成16年度に子実体の発生が確認されて以来、発生量は順調に増加し、29年度には過去最高の約18kgを収穫しています。

守る会では、28年度からJAを通じて岡山市場への出荷を始め、



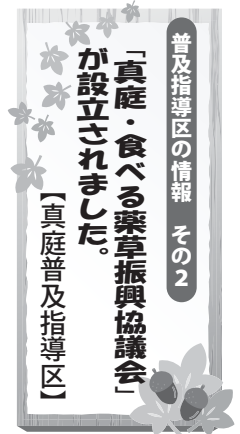
ホンシメジ、マツタケ発生量の推移

28年度は約3kg、29年度には約13kgを出荷しています。天然物のホンシメジはほとんど市場に流通しておらず、山採りホンシメジとして初出荷した際はかなりのインパクトがあったとのこと。

四 今後の目標

暮田赤松を守る会では、発生環境整備を継続するとともに、形の良いシメジを選別して出荷することを心がけて、売上げ単価の向上に努めるとしています。また、森林研究所が取り組んでいる菌根性のこのに関する研究にも試験地の提供等で積極的に協力していきたいとされています。

(東備普及指導区 掛屋 晶則)



平成29年10月、「第6回全国薬草シンポジウム2017 inまにわ」が開催され、この取り組みを今後も継続していくため「真庭・食べる薬草振興協議会」がこの8月に設立されましたのでその概要を紹介します。

一 「真庭・食べる薬草振興協議会」の概要

真庭市の富原婦人林業研究クラブでは、平成23年に真庭市が開催した「里山宝探しゼミナール」への参加をきっかけに、熊本県の崇城大学薬学部（じゆうじょう）の村上光太郎教授と出会い、山野草の薬用効果や調理法を学び、自らも山野草の採取、レシピの考案、くず新芽茶の製造などに取り組んできました。

平成28年に「全国薬草シンポジウム2017 inまにわ実行委員会」が同クラブを中心として発足翌年に「第6回全国薬草シンポジウム2017 inまにわ」が開催されました。

シンポジウム開催前後に市内で



全国薬草シンポジウムでの事例発表

行われた薬草料理教室や勉強会には多くの参加者があり、薬草を日々の食生活に取り入れ、健康維持を図りたいという思いを持つ方が多いことがうかがえます。

このような思いを受け、地域の豊かな里山の資源を活用し「食べる薬草」のライフスタイル、地域産業・生活文化の継承と振興、健康増進や活動を通じた地域内外の住民の交流、地域活性化を目的に本年8月31日に「真庭・食べる薬草振興協議会」が設立されました。協議会は、真庭地域の団体・法人会員と個人会員で構成され、会長、副会長等の役員を置き、協議会の活動を推進するため、本クラブ

を中心とする「採集栽培部会」や「加工開発研究部会」、「普及推進部会」の3部会が設置されています。

二 活動内容

協議会では、「食べる薬草」をテーマとした振興・交流活動や協議会の目的を達成するため必要な活動を行うこととしています。

30年度は、採集栽培部会がフィールドワークとして薬草採集体験・群生地（ぐんせいち）の把握、加工開発研究部会が食べる薬草をテーマとした商品（里山キッチンカレーなど）の開発・研究、普及推進部会が



薬草フィールドワーク

「第7回全国薬草シンポジウム2018 inうだ（奈良県）」、「食べる薬草フォーラム inまにわ」など各種イベントへの参加や開催等を行うこととしています。



薬草料理教室

三 終わりに

「真庭・食べる薬草振興協議会」が、真庭地域の豊かな里山に自生している薬草などを活用し、地域内外の住民の健康増進に努めるとともに、各種イベントを通じて、若い世代にも楽しんで参加していただけるような取り組みを実施することが続くよう、今後も支援したいと思います。

（真庭普及指導区 馬場宏治）



びほく森林組合

みぞかわ
溝川 博之さん (27歳)

今回は、びほく森林組合の溝川博之さんをご紹介します。

溝川さんは平成29年4月から事務職員として勤務され、今年で2年目のニューフェイスです。

取材時は、若干緊張をされておられましたが、誠実に答えてくださいました。



びほく森林組合 溝川 博之さん

一 経歴

溝川さんは、高梁市松山出身

で、高校生まで地元高梁市で育ち、その後、倉敷市内の大学に進学をされ、大学では今の仕事に全く関係のない文系を専攻されていたそうです。また、溝川さんは、「大学を卒業したら、いずれは実家のある高梁市内で就職して働きたいという思いを持っていた。」とのこと。

二 就職のきっかけ

なぜ森林組合に就職をされたのかお聞きしたところ、「父がびほく森林組合（作業班）に勤めており、自然を相手に仕事をしている父の姿を見てやりがいを感じ、森林組合への就職を決めた。」とのこと。

また、「子供の頃、祖父がスギやヒノキ等の山行き苗木の生産を行っていたので、自然に生産現場を見て育ったことが、この道に進むきっかけの一つになったかもしれない。」と話されました。

三 仕事の内容

溝川さんは現在、現場関係の一般事務をされていますが、業務といっても図面の作成などの内業だけでなく、現場の施行状況の写真撮影やコンパスを用いた森林測



間伐の施工状況を撮影中の溝川さん

量を行っています。

就職した当時の苦労話をお聞きしましたが、「これまで測量について勉強をしたことがなく、測量の手順や専門用語を覚えることが大変だった。」

また、山での作業を経験したところがなかったため、足場の悪いところでの測量や森林内の移動に体力を使い、事務所に帰ってから事務ができないくらい疲れた。」そうです。

次に、日頃から気を付けている点について伺いましたが、「第一に山での怪我に細心の注意を

払っている。第二に睡眠時間を十分取って体調管理に気を付けている。」とのことでした。

四 仕事の感想

二年目になった溝川さんに仕事の感想をお聞きしたところ、「山の仕事は危険な仕事であるが、やりがいがある。林業はこれからも長く続いていく仕事であり、自分も頑張っていきたい。若い人が林業に希望が持てるようになれば、担い手の問題も解消できるのではないか。」と話されました。

五 今後について

もつと現場での経験を積み、将来は森林組合の事務全般が一通りできるようになりたい、と話されました。

六 おわりに

今回の取材では、組合の事務所と高梁市有漢町大谷地内の間伐の現場でお話を伺いました。

林業は大変な仕事ではありませんが、溝川さんの今後益々のご活躍を期待し、当普及指導区としても、支援していきたいと思っております。

(高梁普及指導区 木村 正三)

岡山県税制懇話会報告書の概要

今年5月から岡山県税制懇話会（会長 岡本輝代志：岡山商科大学名誉教授）において、おかやま森づくり県民税のあり方等についてご審議いただき、10月5日、報告書が知事に提出されましたので、その概要を報告します。

【報告書の概要】

1 おかやま森づくり県民税事業の実績と主な成果

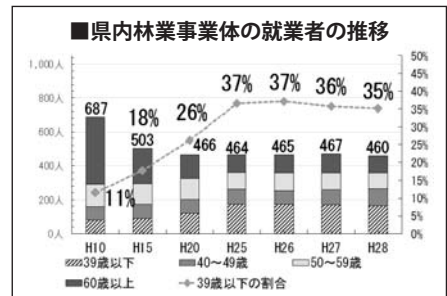
平成16年度から森づくり県民税が導入され、「水源のかん養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり」、「森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進」、「森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進」の3つの柱に従って森林の保全に関する施策が推進されており、一定の成果があった。



間伐後3年経過



ナラ枯れ被害木の駆除



若い担い手の割合が増加
(H15: 18% → H28: 35%)

2 岡山県の森林・林業の現状と課題

岡山県の森林面積は県土のおよそ68%を占めており、水源の^{かん}涵養、県土の保全などの公益的機能の発揮を通じて県民生活に大きく貢献しているが、緊急的な間伐等が必要な森林が多く存在するほか、シカによる林業被害の増加、担い手不足などの課題がある。

3 おかやま森づくり県民税の必要性と使途事業の方向性

引き続き、県民の森林に対する多様な要請に応えるためには、森林保全に関する施策が今後とも必要であり、森づくり県民税を平成31年度以降も貴重な財源として存続させることが望ましい。

(1) 使途事業の方向性

今後とも、「水源の^{かん}涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり」、「森林整備を推進するための担い手の育成・確保と木材の利用促進」、「森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進」の3つの柱に従い、「伐って、使って、植えて、育てる」という林業サイクルの循環のための各種森林保全事業を実施すべき。

(2) 森林環境税（仮称）・森林環境譲与税（仮称）との整理

- ・森林環境税（仮称）は平成36年度から課税されるため、次の5年間（H31～H35）は森づくり県民税との負担の重複はない。なお、平成31年度から譲与される森林環境譲与税（仮称）と森づくり県民税との使途の重複が懸念される。
- ・今後、市町村においては、この森林環境譲与税（仮称）を活用した新たな森林管理システムの体制整備に相当時間を要することや、県において、森林環境譲与税（仮称）を活用する市町村と十分な協議・説明が行われたことから、次の5年間は、基本的には森づくり県民税との使途の重複は避けられると考えられる。

4 税制度のあり方

本県の課税制度として定着しており、また、他府県と比較しても本県の税制度は標準的なものといえることなどから、現在の税制度を継続することが適当である。

- ・課税方式 県民税均等割の超過課税
- ・税率 個人：500円/年、法人：均等割の5%相当額
- ・課税期間 5年間（平成29年度決算見込額：5億8千万円）

岡山県税制懇話会報告書については、税務課ホームページに掲載していますのでご覧ください。

※岡山県税務課HP「岡山県税制懇話会」URL：<http://www.pref.okayama.jp/page/342308.html>

（林政課普及指導班）



一 はじめに

美咲町は岡山県中央部に位置しており、町内の76%を森林が占め、山間や谷間を利用した棚田など豊かな自然を有する中山間地域です。産業別就業人口では、農林業が多く、古くから林業が盛んな地域です。近年、人口減少や高齢化が深刻な問題となる中、林業に関しても担い手不足が危ぶまれており、林業事業者や木材利用事業者の努力だけでは限界があります。

先人たちが木を植え、育て、私たちに託した豊かな森林環境、森林資源を次世代の子供たちに引き継ぎ、豊かで住み良い町づくりを進める必要があると考えます。このため、平成28年10月に林業・木材産業関係者、自治会、町議会、県などで構成する「美咲町地域林業担い手サポート協議会」を設置し、林業の担い手確保・育成に向けた総合的な取組を検討し、その一環として一日林業体験開催や、都市部での移住・定住相談会

への参加等を実施しています。

二 これまでの取組
【一日林業体験の開催】



一日林業体験参加者との記念撮影

林業で働くことに興味のある方を対象に、就業に向けた現地での作業体験と先輩林業者との意見交換会や町の移住・定住についての個別相談を行っています。これまで7回開催しており、計40名の参加がありました。（町外からの参加者29名）

【林業の魅力発信】

町民の方々、また町外の方にも林業の役割を理解してもらうと

もに、次世代を担う子どもたちに職業としての林業を学習や体験、みさきTV等により知ってもらい、森林・林業に興味を持つ“きっかけ”となることを重視して、林業の魅力を発信しています。

【移住・定住イベントへの参加】

北海道から沖縄まで約150地域が集まる関西最大級の移住・定住イベント「いななか暮らしフェア」において、美咲町のブースを出展し、町外からの新規就業者の確保に取り組んでいます。7月には9名の移住希望者から



いななか暮らしフェアでの美咲町のブース

の具体的な相談に応じ、林業関係では2名の相談がありました。うち1名は建設関係の仕事希望の方でしたが、林業の現場で働いている人が相談を受けることによって、実際の職場のイメージを持つてもらえることや林業の魅力発信につながることでできたものと手ごたえを感じています。

三 今後の取組

今年度も岡山県林業振興基金主催の林業就業ガイダンスなどに参加する予定としています。

また、町内の若手林業者を中心に組織している「担い手部会」を随時開催して、情報交換による交流や、新規就業者や移住者との協力体制を構築していきたいと考えています。

四 最後に

森林の公益的機能の発揮と林業のサイクルを循環させるためには、担い手の確保は喫緊の課題と位置づけされており、「山を育てる 森を守る仕事 それが林業」をキャッチフレーズに、引き続き取組を進めていきたいと考えています。

（美咲町役場 産業観光課

課長補佐 頃安英生）



知事表彰の大石弘之さん

第51回岡山県農林漁業 功労者表彰受賞者の紹介

林業・木材産業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお喜び申し上げます。(敬称略)

《知事表彰【林業部門】》

おおいし 大石 弘之 (真庭市)

専業でしいたげ生産に取り組んでおり、クヌギ等の原木を使い露地栽培にこだわった高品質な乾しいたげは、品評会等で高く評価され毎年優秀な成績を収めている。平成14年から地元の小中学生を対象とした、しいたげ植菌体験を生産

者仲間とともに実施している。

平成17年から平成20年まで真庭市椎茸生産組合副組合長を務め、ほだ場研修会や品評会の開催、各種イベントでの積極的な出店販売などを通じて、組合員の生産技術の向上やしいたげの普及啓発・消費拡大に努めるなど、長年にわたって地域のしいたげ生産振興に尽力している。

《農林水産部長表彰

【林業部門】

つぎやま 築山 常茂 (鏡野町)

林内ほだ場とハウス栽培を組み合わせたいたげ生産を行っている。発生時期の分散を図るため3種類の種菌を使用し、植菌した原木を林内ほだ場とハウスで移動させるなど発生管理方法を工夫し、乾椎茸品評会で優秀な成績を収めるとともに後進の指導を行っている。

J A つやま椎茸部会長として品質管理の技術指導や出荷体制の確立に取り組むほか、平成27年には鏡野町森林づくり協議会委員に就任するなど、長年にわたってしいたげ生産振興へ尽力するとともに地域の森林・林業振興へも貢献している。

《農林水産部長表彰

【団体指導者部門】

くわもと 桑元 公司 (美咲町)

平成12～24年に津山木材仲買協同組合の副理事長、平成24年から同組合理事長を務め、素材の共同購入に際して取引先に品質表示等の改善を促進し組合員の経済的地位の確立に尽力した。

また、素材・製材品展示販売会で組合員の製材品を始めとした美作材を、全国からの買い方にPRするとともに、「木の家づくり」に積極的に取り組み木材の需要拡大に尽力している。津山地区木材組合の副理事長及び岡山県木材協同組合連合会の理事等にも就任しており、長年にわたり木材業界の発展に貢献している。

(林政課普及指導班)



©岡山県「ももっち・うらっち」

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕 サイトロン・サイトロンフレノック・ケイピンエース

〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤

(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
 TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
 TEL：06-6231-2819

技能講習会の開催(12月~3月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
木材加工用機械作業主任者	津山	12月17, 18日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
小型移動式クレーン運転	岡山	1月24, 25日	
	津山	2月27, 28日	
玉掛け	岡山	1月17, 18日、2月7, 8日	
	津山	2月19, 20日	
伐木(特別教育)	津山	3月6, 7日	
刈払(安全衛生教育)	津山	2月18日	
はい作業主任者	倉敷	2月6, 7日	陸上貨物運送業労働災害防止協会 岡山支部 TEL (086) 234-1332

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと 21,225 円 (5年間計)

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと 37,375 円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約 350 円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約 620 円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

林 産 物 市 況



●木 材 (9月27日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4 ~ 1 6	12	—	檜	3 m	1 4 ~ 1 6	23	19
		1 8 ~ 2 0	12	—			1 8 ~ 2 0	22	19
		2 2 ~ 2 8	13.5	—			2 2 上	20	17.5
	4 m	1 8 ~ 2 2	10	—		4 m	1 4 ~ 1 8	20	19
		2 4 ~ 2 8	10	—			2 0 ~ 2 2	17	16
		6 m	1 6 ~ 1 8	13			—	2 4 ~ 2 8	17.5
松	3 m	1 8 ~ 2 2	13	8	6 m	1 6	—	—	
	4 m	1 8 ~ 2 2	13	8		1 8 ~ 2 0	30	20	
・出荷材積			約1,300m ³						
<p>(共販所より概況)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>杉概況 3 mの柱～中目は品薄気味で買い気良好 4 m元木良材も買い人気</p> <p>【3 m】 【4 m】 柱 材 強持合 中目材 保合い 中目材 強持合 元 木 強含み</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>檜概況 品薄傾向で、3 m、4 m共に並材から元木まで強気</p> <p>【3 m】 【4 m】 柱 材 強持合 柱 材 保合い 中目材 強持合 中目材 強含み 元 木 強気 元 木 強気</p> </div> </div> <p>松概況 需要期に入るも出荷少なく品薄</p>									

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

●製 材 (9月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/m ³)	備 考
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特 等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)	
	正角 3 m 12cm角	特 等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)	
ヒ ノ キ	正角 3 m 10.5cm角	特 等	K	~ 68,000 (背割無)	
	正角 3 m 12cm角	特 等	K	~ 62,000 (背割無)	
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm ×15~18cm	一 等	K	75,000	
米 マ ッ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特 等	G	58,000 ~ 60,000	
	平角 3 m、4 m 10.5 ×15~21cm	特 等	G	62,000 ~	
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特 等	K	70,000 ~ 75,000	
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特 等	K	59,000 ~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

皆伐・再造林促進支援事業のご案内

岡山県森林組合連合会



「伐って・使って・植えて・育てる」

～林業経営を応援します～



再造林費については ha 当り上限 10 万円、
下刈り費は上限 5 万円を 5 年間助成します。
詳細につきましては、当連合会各支所又は
最寄りの森林組合へご相談ください。



(※森林組合の連絡先等は
岡山県森連ホームページにあります。)



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>



「緑の募金」ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町 1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

ほっけー木になる情報

A・平成29年度から始まった地域林政アドバイザー制度は、市町村が森林・林業に関して知識や経験のある方を雇用して、市町村の森林・林業行政の円滑な推進を図るものです。

次のいずれかに該当する技術者の方が対象です。

- ・森林総合監理士
 - ・林業普及指導員資格者
 - ・技術士（森林部門）
 - ・林業技術士
 - ・森林施業プランナー
- ・地域に精通する者等であつて、林野庁が実施する研修又はそれに準ずる県の研修を受講した者

平成30年度から始まる新たな森林管理システムでは、市町村が主体となり、森林所有者と林業経営者の仲介役となり、森林整備を行うっていくこととされています。

こういった中、地域林政アドバイザーが市町村職員と共に地域の森林整備の推進役となることが期待されています。

狩猟期間等のお知らせ

今年も11月15日から狩猟期間が始まります。終期は2月15日ですが、岡山県では、鳥獣による農林水産業への被害が深刻なことから、第二種特定鳥獣管理計画を策定し、現在、イノシシ及びニホンジカについては、3月15日まで猟期を延長しています。

また、ツキノワグマについては、生息数が増えたことから、第一種特定鳥獣保護計画により、11月15日から12月14日まで、狩猟が一部解禁されています。

野山に入る際は目立つ服などを着用するなど、狩猟者の注意を喚起するようにしてください。

狩猟制度等の詳しい内容については、岡山県農林水産部鳥獣対策室HPをご確認ください。

URL:<http://www.pref.okayama.jp/page/553077.html>

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿

をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内 または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所木材加工研究室内

【編集後記】

●この夏・秋は、7月豪雨、その後の酷暑、相次ぐ台風の来襲に気を取られているうちに過ぎていってしまいました。今年も残り2ヶ月。おだやかに日々が過ぎていくようお願いしています。

(O)

◆昭和26年に創刊された「林声」も昭和、平成と受け継がれ67年目を迎えました。来年は新しい元号になり、新たな時代を迎えることとなります。

この「林声」が次の時代も受け継がれていくことを願います。

(S)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕
				



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

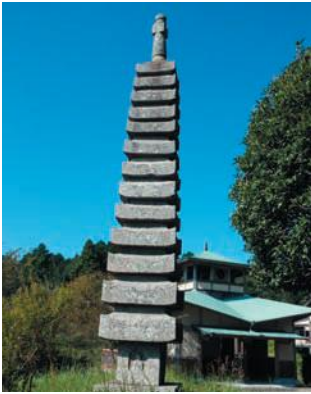
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

林声

平成三十年十一月一日(第四六十二号)
(隔月一日発行)

編集 発行
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六



石造十三重層塔と展望台

また、園内には鎌倉時代の作といわれる「石造十三重層塔」がそびえ立っています。奈良時代の備前四十八ヶ寺の一つ石蓮寺の跡地に残された石塔で、花崗岩で作られており高さは約六・五丈あります。県下に現存する多重石塔の中で最も大きいもので、県指定重要文化財となっています。

赤磐市の南部、石蓮寺山(標高二七一呎)の麓に「石蓮寺みんなの森」があります。面積は五・九畝で林内には散策路が整備され、春は桜、秋には紅葉が楽しめるほか、木造2階建ての展望台からは眼下に市街地が広がり、天候がよければ小豆島や瀬戸大橋なども遠望できます。

「石蓮寺みんなの森」

森林・林業施設の紹介



管理棟



展望台からの眺望

自然と歴史に満ちたみんなの森で心と体をリフレッシュしてはいかがでしょうか。
(東備普及指導区)

安心と信頼の証を届けます



JQA-QM8203

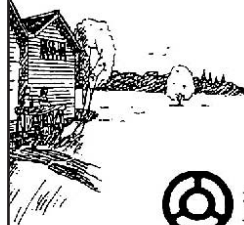


ROHS

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場
OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL(086)279-0585 FAX(086)279-0460
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL(086)428-7576 FAX(086)428-6153
■東京営業所 〒201-0903 東京都江市和泉本町1-21-1(201) TEL(03)5761-9577 FAX(03)5761-9587



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142

http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材10%+古紙70%)

